



ご挨拶

本日は“*A-Winds 31*”2010年 夏の演奏会にお越し下さり、誠に有難うございます。「こころ豊かな文化の香り高き町 大和郡山市」のお城の麓“やまと郡山城ホール”で皆様方と、こうしてお逢いすることができましたことに、*A-Winds*一同、心より感謝申し上げます。

1999年10月、アンサンブルという少人数の音楽スタイルを、吹奏楽の大人数の編成において、そのアンサンブルの延長上にと位置づけ、平城遷都1300年の歴史を誇る古都、奈良の都に発足しました。同年の秋に初の舞台“デビュー演奏会”を開催し、以後四季折々に開催する我々 *A-Winds* 奈良アマチュアウインドオーケストラの定期演奏会も、お陰さまを持ちまして丁度創立10周年を数え、過去最多の58名の団員と共に、第31回目の演奏会を迎えることができました。これも我々 *A-Winds* の活動、そして音楽をこよなく愛して下さった皆様方の御指導、御支援の賜物と団を代表しまして心より厚く御礼申し上げます。

演奏面は勿論、運営面などの活動全般において、団員一人ひとりが『主人公』ということ、吹奏楽のオリジナル作品を中心に取り上げることを活動方針に掲げ、アマチュアながらも音楽表現の研究にと、作曲家の方々を実際に合奏練習にお招きして、作曲家自身による作品の生い立ちや、楽曲の紐解き解説を聞きながら合奏指導を受けたりと、様々な啓蒙に取り組みながらこれまで活動を続けて参りました。

1300年前、かの偉大な先人たちは、この場所に生まれ、育ち、何をして、何を感じ、何を後世に残そうとしたのかと、とても感慨深い思いに耽る今日、わずかに10年余りのちっぽけな、我々 *A-Winds* ができること、口にするには少し大げさではありますが、舞台と客席が一体となった今日のこの響きを、いつまでも皆様の心の中で鳴り響き続けることで、遙か遠く先の歴史の一頁になればと願いを込め演奏を披露するとともに、一句詠ませていただきます。

語り継ぐ 時の記憶に 音を添え

今後とも、温かい御指導御支援の程、宜しく願い申し上げます。

A-Winds 奈良アマチュアウインドオーケストラ 団長 魚谷昌克

*

本日は“*A-Winds 31*”2010年 夏の演奏会にご来場いただき、まことにありがとうございます。

今回の演奏会は『吹奏楽の故郷より』と題しまして、ヨーロッパ・アメリカ出身の作曲家による曲を集めました。

第1部ではスクールバンドの為に書かれた『アルヴァマー序曲』や、美しい都市の印象を描いた『パリのスケッチ』などを演奏いたします。アメリカのスクールバンドは戦後日本に吹奏楽部という形で輸入され、今日の吹奏楽の基礎となりました。

第2部では、作曲者のホルストが故郷のイギリスを懐かしみ、曲中に民謡のフレーズを取り入れた『吹奏楽のための第2組曲』、第2次世界大戦下、ドイツ軍によるイギリス空襲を描いた『Wind Blitz』の2曲を演奏します。ヨーロッパの吹奏楽は江戸時代の終わりに日本に軍楽隊として取り込まれ日本の吹奏楽の始まりになりました。

西洋の本場の響きをどうぞ最後までお楽しみ下さい。

“*A-Winds 31*” 2010年 夏の演奏会 実行委員長 尾登勇介



ご案内

“*A-Winds 32*” 2010年 秋の演奏会

2010年11月20日(土) 14:00開演 やまと郡山城ホール大ホール

“*A-Winds 32*” 2010年 秋の演奏会では会場一体となって楽しめるようなプログラムにしました♪ アメリカ音楽や映画音楽、そして少し珍しい“打楽器コンチェルト”などで *A-Winds* と一緒に秋の週末を楽しみ過ごしましょう! 皆様の御来場をお待ちしています。

“*A-Winds 32*” 2010年 秋の演奏会 実行委員長 森本幸恵



A-Winds 奈良アマチュアウインドオーケストラ

Piccolo 佐藤 由加里

Flute 佐藤 司
魚谷 陽子
古川 恵理
浅野 美音♪

Oboe 深沢 亮子
渡辺 美佳子

E♭ Clarinet & B♭ Clarinet 長尾 恭子
竹村 明恵
森本 幸恵
後藤 咲妃
上野 彩香
八木 望 ♪
藤岡 宏樹
池田 知未
芳倉 宏文◇
野島 佳織◇
日野上昌里佳

Alto Clarinet 大西 晴己

Bass Clarinet 辻田 綾子

Bassoon 満江 孝文
荻原 美華子

Alto Saxophone 島田 博一
宮本 祐輔
三宅 利幸☆

Tenor Saxophone 初岡 和樹

Baritone Saxophone 吉村 由夫

Horn 久野 耕三
次田 哲平
小林 計昭♪
大田 雅美
山中 美咲

Trumpet 魚谷 昌克
表 恭子
篠木 章江
山本 洋介
竹腰 綾香
小倉 明花
市原 満

Trombone 萱原 淳嘉
小泉 文浩
鈴木 恵子
上野 遼太♪

Euphonium 大西 善郎
尾登 勇介
藤村 晃世♪

Tuba 楠 陽介
岸本 和 ♪
森 和文

St. Bass 椎村 亮太

Percussion 平井 晶 ♪
谷口 麻子
久保 寛美
川本 理恵
吉村 昌子◇
松嶋 春香
高林 芙樹

Piano 八木 真木

Stage Manager 河津 雅之◇

団員 = 58名
◇ = 休団
☆ = エキストラ
♪ = A-Winds-31 実行委員



A-Winds メンバー募集

- 募集パート
 - ・ トロンボーン(バス・トロンボーン) / 1名
 - ・ コントラ・バス / 1名
 - *A-Winds* の活動趣旨(ウインドアンサンブル&オリジナル重視)に賛同頂ける方
 - ご自分で楽器を準備できる方
 - 全ての活動に賛同頂ける方
 - 18歳以上の方
 - 詳細はお問い合わせ下さい。
- 問い合わせ先は <e-mail>a-winds@amber.plala.or.jp



2010年6月19日(土) 13:30開場 / 14:00開演
やまと郡山城ホール 大ホール

主催 ● *A-Winds* 奈良アマチュアウインドオーケストラ
後援 ● 奈良県・大和郡山市・大和郡山市教育委員会・奈良県吹奏楽連盟



プログラム

◇第1部

団員指揮者：魚谷昌克

アルヴァマー序曲

Alvamar Overture

作曲：ジェイムズ・バーンズ／James Barnes (1949－)

出版：Belwin-Mills

タイム・リメンヴァード(追憶されるべき時)

Time Remembered Elegy for Band

作曲：フィリップ・スパーク／Philip Sparke (1951－)

出版：Anglo Music

客演指揮者：吉崎直之

パリのスケッチ

Paris Sketches Homage for Symphonic Wind Orchestra

1. サン＝ジェルマン＝デ＝プレ / Saint-Germain-des-Prés

2. ピガール / Pigalle

3. ペール・ラシェーズ / Père Lachaise

4. レ・アル / Les Halles

作曲：マーティン・エレビー／Martin Ellerby (1957－)

出版：Maecenas Music

◇第2部

吹奏楽のための第2組曲 へ長調

Second Suite in F for Military Band

1. マーチ / March

2. 無言歌‘我が愛を愛す’ / Song without Words “I’ll love my love”

3. 鍛冶屋の歌 / Song of the Blacksmith

4. ダーガソン幻想曲 / Fantasia on the “Dargason”

作曲：グスターヴ・ホルスト／Gustav Holst (1874－1934)

出版：Boosey & Hawkes

ウインド・ブリッツ

Wind Blitz

作曲：デレク・ブージョワー／Derek Bourgeois (1941－)

出版：HAFABRA



プログラムノート

■アルヴァマー序曲／ジェイムズ・バーンズ

作曲者のジェイムズ・バーンズが住むローレンス市は、アメリカ合衆国カンザス州の北東部に位置する、カンザス大学を中心とした学園都市です。タイトルの“アルヴァマー”は、彼の家の近くにあるアルヴァさんとマリーさんが経営するゴルフ場の名前からとられたものです。

曲は吹奏楽作品では典型的な“急－緩－急”の3部形式で、イントロは曲の属和音の分散音型により軽快に導入した後に木管+ホルンにより主旋律が提示されます。Adagioの中間部はトランペットが先導して艶やかに奏され、印象的な美しい旋律が受け継がれて行きます。再現部は打楽器が先導して冒頭のテンポに戻りAllegroの旋律が再現されます。最後は木管セクションの細かいパッセージと金管セクションの中間部のAdagioの旋律が合わり感動的に終わります。

■タイム・リメンヴァード(追憶されるべき時)／フィリップ・スパーク

この「タイムリメンヴァード」は、「オリエント急行」や「宇宙の音楽」などテンポの速い難技巧の曲で知られるフィリップ・スパークの他の作品と比べると、日本での著名度はそれほど高くはないでしょう。

しかし、ゆっくり流れるテンポの中にも作曲家スパークの巧みな表現が組み込まれており、原題に「Elegy」=哀歌とあるように、曲を通して叙情的で非常に美しいハーモニーが奏でられます。

この作品は21世紀を迎えるにあたって数々の発展と、また混乱もあった激動の20世紀を追憶して作られました。どこか郷愁を誘う美しい旋律にどうぞ耳を傾けてみて下さい。

■パリのスケッチ／マーティン・エレビー

フランスの首都であるパリは、“芸術の都”という異名が言い表すように、絵画、彫刻、音楽など、様々な芸術の世界的な中心地として名を馳せています。また歴史は古く2500年以上にも及び、中心部を流れるセヌ川の河岸地域は世界遺産に登録されています。

この作品は、エレビーが愛する街パリに関わりのある作曲家を称え、市内の4つの場所を題材に選んだ組曲です。また、パリの生活の特徴づけているいくつかの鐘の音によって、作品全体が一つに結ばれています。

1. サン＝ジェルマン＝デ＝プレ

現存するパリ最古の教会、サン＝ジェルマン＝デ＝プレ教会を中心としたこの一角は、数多くの知識人や芸術家を育ててきました。ラヴェルのイメージによる朝の描写で、教会の鐘の音とともに街は目覚めていきます。

2. ピガール

ピガール広場一帯は、キャバレーやナイトクラブ、ストリップ小屋などが軒を連ねる歓楽街です。ストラヴィンスキーやプロコフィエフの手法を合わせたようなユーモアを持たせた表現が、この街の賑わいを表しています。ここでの鐘の音は、車や警官の警笛です。

3. ペール・ラシェーズ

ペール・ラシェーズ墓地は、ピゼーやロッシェニらが眠るパリ最大の墓地で、街の観光に疲れた旅行者が、最後に安らぎを求めて訪れる場所の一つでもあります。

楽譜には「ジムノベティ」と書かれています。ジムノベティとは古代スパルタの戦没した兵士を悼む踊りのことで、サティの「ジムノベティ第1番」のスピリットが受け継がれ、鐘は優しく郷愁に満ち、最後にトランペットが死者を悼む物悲しい旋律が流れ静かに終わります。

4. レ・アル

“パリの胃袋”とも呼ばれる中央市場がある、古くからの庶民の街です。鐘は勝

ち誇り祝福するように鳴り響きます。またクライマックスには、1855年に実際にこの地区にあるサントウスタツシャ教会で初演されたベルリオーズの「テ・デウム」からの引用もあります。

■吹奏楽のための第2組曲 へ長調／グスターヴ・ホルスト

この作品は1911年に作られたもので、『第1組曲』とともに吹奏楽のためのオリジナルな作品としては草分け的な存在といえます。構成は4つの楽章から成り、全曲を通してイギリス民謡が使われています。

1. マーチ

ルネサンス時代の陽気な踊りであった「モーリス・ダンス」で始まり、ゆったりと叙情的な民謡「スワンシー・タウン」、そして軽快な「クラウディ・バンクス」と続きます。

2. 無言歌‘我が愛を愛す’

この楽章のメロディは、イングランド島最南西端のコーンウォール地方の民謡で、結婚に反対する両親によって海に送られてしまった恋人を悲しんで歌う、少女の歌です。

3. 鍛冶屋の歌

鉄を鍛える音を金管楽器の強烈なスタッカートによって模倣され、その上を木管楽器とホルンによってメロディが生き生きと奏されます。

4. ダーガソン幻想曲

イギリスの田舎の踊りと民謡である「ダーガソン」のメロディが何度も繰り返されます。途中「グリーンスリーヴズ」のメロディが重なります。

■ウインド・ブリッツ／デレク・ブージョワー

ブリッツ(Blitz)とは「電撃的な」や「急襲」や「空襲」という意味で、この曲はロンドン空襲(現地ではthe Blitzと呼び習わされる)を題材としています。またアメリカンフットボールのルールでは、通常はフィールドの後方を守る選手を敢えて敵陣に突入させる奇襲的な戦法のことを言い、その大胆なプレーは観客すべてを興奮の渦に巻き込みます。

話を吹奏楽に戻して、この“ウインド・ブリッツ=電撃的な管楽器”ですが、タイトルの通り各楽器がその特性を活かしながら、テンポを変え、リズムを変え、次々と聴く者に対して“攻撃”を仕掛けてきます。貴方はこの興奮に、どこまで耐えられるでしょうか。

曲は1981年にブラスバンド編成の作品として作曲されたものを、出版社からの委嘱により、2002年に吹奏楽編成に改編されたものです。



プロフィール

客演指揮者：吉崎直之

京都市立堀川高等学校音楽科(現京都市立京都堀川音楽高等学校)、京都市立芸術大学音楽学部をトランペット専攻で卒業。トランペットを八木茂夫、北村源三、藏野雅彦、有馬純昭、指揮法を伊吹新一の各氏に師事。大学在学中から、フリーランスのトランペット奏者として活動し、京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪センチュリー交響楽団、東京佼成ウインドオーケストラ、宝塚歌劇場管弦楽団、等に客演。ヤマハ株式会社契約インストラクター。全日本学校音楽研究会講師。文化庁派遣講師。奈良県立高円高等学校音楽科講師(Tp、合奏)。京都市教育委員会吹奏楽特別非常勤講師。天理音楽院講師。

多数の吹奏楽団、オーケストラを指揮・指導し、現在、樞原交響楽団、王寺ジュニアバンド・ハルモ、生駒台ジュニアブラスバンド、大和高田市立片塩小学校、堺市立向丘小学校、奈良育英小学校、葛城市立白鳳中学校、山添村立山添中学校、香芝市立香芝中学校、香芝市立香芝西中学校、奈良市立登美ヶ丘北中学校、奈良県立高円高等学校、平城高等学校、畝傍高等学校、樞原高等学校、奈良高等工業専門学校、京都市立紫野高等学校、白頭学院建國中・高等学校、同志社香里中・高等学校、同志社大学の各団体を指導。